



生	ご	み	の	水	分
絞	っ	て	ま	す	？

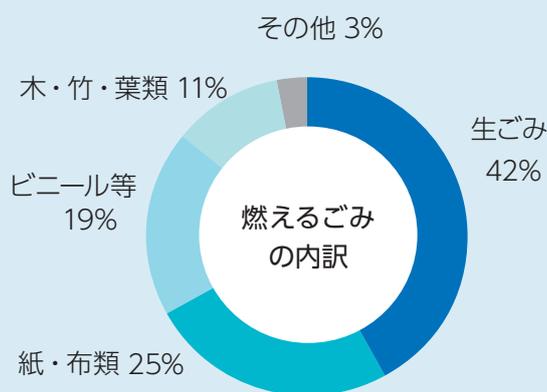
☎環境課 ☎ 35-3744

令和4年度に排出された燃えるごみは2万7,102t。燃えるごみを含めた全てのごみを処理するために、約16億4,000万円の税金が使われました。

環境のため、市民の皆さんからいただいた税金を有効活用するため、ごみを減らす「ひと手間」を日々の暮らしに加えてみませんか。

燃えるごみの減量は生ごみから

下の円グラフは、本市の燃えるごみの内訳を種類別に割合で示しています。燃えるごみのうち生ごみは約4割。各家庭で生ごみを減量することは、燃えるごみ全体の削減に大きな効果があります。



7割が水?生ごみ処理の費用

燃えるごみの多くを占める生ごみですが、その約7割がなんと「水分」です。以下の計算式で算出すると、令和4年度の生ごみに含まれる水分の処分には、約4億1,000万円を費やしたことになります。

生ごみの余分な水分の処理費用＝
(燃えるごみ処理量) × 4割 × 7割 × kg単価

水分「だけ」を燃やすために
費やされた税金

約 **4億1,000万円**

他にもイロイロ生ごみ削減術

■必要以上にものを買うのはやめましょう
賞味期限が切れた食材を生ごみにしていませんか。全国では523万tの食品ロスが発生(令和3年度)。必要なものを必要なだけ購入することを、心がけましょう。

■「キエーロ」を使ってみましょう
「キエーロ」とは、黒土をかぶせてバクテリアの力で生ごみを分解させる容器です。日当たりが良く、風通しの良い場所であれば、ベランダに設置することも可能。購入すると、市から1万円を限度に補助があります。詳しくは市ホームページをご覧ください。



透明の屋根を付けたキエーロ